

## 鳥貴族(3193)



### — 価格改定後の動向に不透明感 —

鳥貴族が13日に発表した2017年7月期の決算は売上高が前期比19.7%増の293億円、営業利益が同8.7%減の14.6億円となりました。売上高は58店舗の新規出店に加えて、既存店売上高が前期比0.4%増と前年をわずかに上回ったことで2割近い大幅な増収となりました。しかし、営業利益は食材の国産化や仕入れ価格の高騰などによる粗利の悪化(1.7億円)や人件費増(3億円)などにより前期比で5億円の減益となっています。

鳥貴族では、人件費の上昇や国産食材の仕入れ価格の高騰、酒税法改正の影響などを考慮し来月からフードとドリンクの価格を280円から298円へと引き上げる予定です。これにより鳥貴族では今期の既存店売上高が値上げによる客数減によるマイナス影響(3%のマイナス)を客単価上昇によるプラス影響(6%のプラス)と既存店の成長(1%のプラス)で吸収し、前期比で4%増になると試算しています。

この既存店売上高と直営店の80店舗純増を前提に、今期の業績予想は売上高が前期比25.9%増の369億円、営業利益が同62.2%増の23.6億円となっています。しかし、既存店売上高の試算については裏付けに乏しく、価格改定の影響は不透明だといえます。これまで均一の低価格が支持されてきただけに価格改定後の既存店売上高が鳥貴族の計画通りに推移するのを見極める必要があります。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会